

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。



年頭のご挨拶

院長 まる た 丸田 さかえ 栄



新年明けましておめでとうございます。今年も桐生市・みどり市にお住いの方々にとって、素晴らしく忘れられないほどの良い年でありますように、心より祈念申し上げます。

健康は年齢が進むにつれ何時も在るものではなく、一生懸命努力して守り、管理・維持して行くものです。それには日々の食事や運動に始まる肉体への気配りと、心豊かに過ごせる生活環境への関わりが重要であり、基本になります。さらに社会の仕組みへの理解はもちろん大切です。そうした中で、もしも健康に差し障りがあれば、桐生市・みどり市医療圏内で最寄りの医療機関で診ていただき、様々な工夫で社会生活が可能とする診療が受けられます。

高度な医療が必要な場合や、重大な手術や緊急的な対応が求められる病状であれば、当院をはじめ二次救急病院での診療を受けていただきます。また当院は小児医療体制が秀でており、幼い命を託すために県内外の各地から当院を目指して来ていただいています。私たちはそうした患者さんをお迎えしたときは、どんな状況でも誠意ある診療を心がけ、喜んでいただける時を共有したく、ご本人さんやご家族の皆さんとの合意と協力を頂き、必要であれば診療科の枠を超えた総合的な診療を提供しています。

ただし、残念ながら医療には限界があり、患者さんの病態や基礎体力、年齢などにより、いくら医療に携わる私たちの力を結集しても望まれる成果ばかりでなく、大変耐え難い結果をお迎えになる状況ももちろんあることが現実です。

そこで、診療への信頼が第一であり、医療技術の向上、医学知識の更新、安全や接遇の改善に向けた職員一人ひとりの努力、先進の医療を担う医療機器の整備など、病院一体で取り組んできました。これからもこの姿勢は私たちが誇りとし、変わりなく受け継がれていく重要な指針だと考えています。何よりも当院が二次救急病院として桐生市・みどり市の皆さん方を中心に求められる医療を実現し、24時間365日質の高い安心の医療を必要とする患者さんに届くように努め、皆さん方が健康を取り戻すように支えて行くことを使命に、職務の遂行を果たす覚悟です。

また、こうした医療は当院に留まらず、地域医師会の先生方や病院との協力があって実現できるものです。これからも地域連携の一翼を担い、地域基幹病院としての責務を務めて行きたいと考えます。

新年早々市民の皆さんにお願いですが、夜間・休日の救急外来は急病患者さんに開かれた最前線の医療現場で、便利優先のコンビニ受診のものではありません。救急外来を継続するためにも、ぜひ節度ある受診をお願い致します。

新年にあたり、これからも変わりなく桐生厚生総合病院が身近な病院としてご利用いただけるように、誰もが頑張りますことを表明し、新年の出発のご挨拶とさせていただきます。

診療科の紹介

呼吸器外科

Thoracic Surgery

呼吸器外科診療部長 田嶋 公平



呼吸器外科では肺がんをはじめ、気胸、縦隔腫瘍、肺良性腫瘍、肺感染症、胸壁腫瘍、膿胸などに対する外科治療を主に行っておりますが、特にその中でも代表的な肺がんについて述べたいと思います。

肺がんは、現在日本人のがんによる死亡原因の1位です。2014年には73,396名の方が肺がんでお亡くなりになっており、

1日当たり約200名と他の癌種と比べてかなり多いです。発症の原因は様々ですが最も関係していると言われているのは、やはりタバコです。特に喫煙指数（＝1日の喫煙本数×年数）が400を超える方は要注意です。近年は喫煙率が低下しておりますが、その効果が現れてくるのは数十年後と考えられ、またタバコが原因ではないタイプの肺がんも増えてきており、今後もしばらくは増加してしまうことが予想されています。

発症初期では症状が無いことが多いですが、進行すると咳、血痰、胸痛などが出現することがあります。検診などのレントゲン検査で異常があれば、CTスキャンや気管支鏡検査などの精密検査を行います。肺がんには大きく分けて4種類の組織型があり、さらに①腫瘍の大きさ②リンパ節転移の状態③遠隔転移の有無などにより総合的に判断し治療方針を決定します。現在の肺がんの代表的な治療法は手術・薬物（抗癌剤・分子標的治療薬）治療・放射線治療ですが、近日中にこれらに免疫療法が加わる予定です。

肺がんの標準術式は肺葉切除術（右肺は上葉・中葉・下葉、左肺は上葉・下葉に分かれており、病気のある肺葉を取り除く手術）+周囲のリンパ節郭清です。アプローチの違いとして開胸手術（10～30cm程度皮膚を切開し胸筋および肋骨を切ることもある）と胸腔鏡下手術（肺を摘出するための3～5cm程度の創と2cm程度の創が数カ所）があります。どちらが優れているのかはまだ学会内でも結論が出ておりませんが、手術時間、出血量、合併症、局所再発などで明らかな差は無いとされており、さらに術後の痛みは胸腔鏡下手術の方が開胸手術に比べて少なく、傷が目立たないことから当科では積極的に胸腔鏡下手術を導入しております。

手術をお受けになる前には、禁煙、呼吸訓練を徹底するとともに術後の肺炎予防のために当院歯科口腔外科による口腔ケアをお願いしています。手術後に切除した肺を病理検査で詳しく調べて、必要な方には再発予防のための抗癌剤治療をお勧めすることもあります。

肺がんを治癒させるためには、早期発見が重要です。当院では人間ドックによる胸部レントゲン検査の他、肺がんドックにて胸部CTも行っております。何か気になることがございましたら病院の健診係までお気軽にお問い合わせください。



3D-CT検査により構築された
肺動静脈・気管支の走行



術中風景

病棟に薬剤師が いるのをご存じ ですか？



薬剤部

薬の専門家である我々薬剤師が病棟に常駐する事により、入院患者さんの薬物治療が効率良く安全に行われるよう、全病棟に薬剤師を配置し良質で安全な医療の提供に努めています。病棟薬剤師の主な仕事をご紹介しますと思います。

①薬物療法のサポート

医師が処方する注射薬や内服薬などすべての薬剤の投与量、投与方法、投与期間や相互作用を確認しています。医師に処方提案することにより副作用を回避できることもあり、患者さんにとってより良い治療が行える様に日々努めています。

服用後は薬の効果と副作用などを患者さんに直接お聞きして、診療に反映させています。

病棟の医師や看護師などへ医薬品に関する情報の周知を図っています。

②患者さんが持参されたお薬の管理

入院時、病棟看護師の協力の下、病棟薬剤師が確認しています。サプリメントの摂取により手術が延期になったこともありましたので、サプリメント等も同時に確認し、服用いただいているお薬との飲み合わせ等に問題が無いかを調べています。

ジェネリック（後発）医薬品の普及により同一成分・同一薬効の医薬品が多数のメーカーから発売されており、薬剤師がしっかりと確認することで、重複投薬等の問題を未然に回避し、安全な服薬が継続できるよう配慮しています。

③ベッドサイドでの服薬指導

入院患者さんのベットサイドで、特に安全が必要な医薬品については投与前に、また、服用中の薬剤情報についても詳しく説明を行っています。

適正な服薬が安全に継続できるように、直接患者さんと面談して、お薬の効能効果、用法用量、服用上の注意事項や、副作用についてお薬の外観の写真を添えた「お薬の説明書」を使用するなど、患者さんが分かりやすいように工夫して指導を行っています。

④退院のとき

退院後の服薬がしっかりと維持できるように退院時に、留意点等の説明をしています。

退院時にお薬が出た時（退院処方）は、お薬の説明書とお薬手帳に貼るシールを入れています。

なお今後、医療機関に受診する時や調剤薬局には「お薬手帳」を提示してください。

新患（初診）で受診希望の患者さんへ

正面玄関エントランスホールのテーブルにあります診療申込書(新患用)用紙(水色の用紙)に必要な事項をご記入のうえ、初再診受付〔5番受付〕へ保険証、医療券(福祉医療受給者証)等を提示してください。保険証の提示がない場合は、自費になる場合があります。また、紹介状がないと特定療養費(2,160円)がかかりますが、紹介状をお持ちいただければ免除されますので、ご協力ください。一部診療科では、原則紹介状をお持ちでないと、受診できない仕組みがあります。

紹介状をお持ちでなくても受診できる診療科

内科、小児科、外科、血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科

紹介状をお持ちいただきたい診療科

神経内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科・歯科口腔外科

※詳細につきましては、病院ホームページまたは、外来診療担当医表をご確認ください。 問い合わせ：TEL0277-44-7140（総合受付）

第16回 市民公開講演

市民の皆さまを対象とした公開講演を開催いたします。

参加無料
申込不要

平成
28年

2月20日(土)

- 場 所：桐生地域地場産業振興センター 中3F 第2ホール
駐車場：桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。
- 時 間：開演14：00～16：00（開場13：30）
- 問い合わせ：TEL 0277-44-7150 担当：地域医療連携室

プログラム

司会 ^{たか はし みつ ひろ} 高橋 満弘

(桐生厚生総合病院 放射線科診療部長)

講演 1

「在宅療養のためにソーシャルワーカーができること」

講師 ^{たけ い ゆう すけ} 武井 祐介

(桐生厚生総合病院 地域医療連携室 社会福祉士)

特別講演 講演 2

「自宅で人生を”完遂”するためのお手伝い」

講師 ^{の す え む つ み} 野末 睦 先生

(あい太田クリニック 院長)



〈プロフィール〉

昭和57年筑波大学医学部卒。その後、筑波大学附属病院、ハーバード大学マサチューセッツ総合病院研究員、筑波記念病院、庄内余目病院 院長等を経て、平成26年8月あい太田クリニックを開院

※取得単位：日医生涯教育講座 1.0単位【カリキュラムコード】80：在宅医療、81：終末期のケア

主 催 桐生厚生総合病院 (地域がん診療連携拠点病院)

後 援 桐生市医師会

第11回

ハッピー健康相談室

皆様が、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。皆様お誘い合わせのうえお越しください。

日 時 3月10日(木) 14:00～15:30

内 容 ① ジェネリック薬品とは…

担当：副薬剤部長

^{ほそや} 細谷 ^{じゆん} 潤

② お薬手帳の活用について

担当：薬剤師

^{やまざき} 山崎 ^{しげき} 成基



■ 場 所：桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

■ 参加費：無料(事前申し込み不要)

■ 駐車場：無料(桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)

■ 問い合わせ先：地域医療連携室 TEL0277-44-7150

(外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)